

「森アートアワード2026 グランプリ受賞記念展：片山真理」 2026年10月31日（土）から森美術館で開催



《tree of life #001》2024年 Cプリント（手焼き）
Courtesy: Galerie Suzanne Tarasieva, Paris; Yutaka Kikutake Gallery, Tokyo

一般財団法人森現代芸術財団（MoriCAF）と森美術館は、2026年10月31日（土）から2027年3月28日（日）まで、「森アートアワード」の初代グランプリを受賞した片山真理の受賞記念展を共同開催いたします。

「森アートアワード」は、一般財団法人森現代芸術財団（2025年5月設立）が隔年で実施する表彰制度です。国内外で活動する日本人、もしくは日本と関係の深い中堅の現代アーティストを対象とし、過去2年間に発表された優れた展覧会や作品をもとに日本国内の推薦委員によって候補者が選出されます。その後、国際選考委員による書類審査を経た4名のファイナリストから、対面の最終審査を経てグランプリが決定されます。グランプリ受賞者には賞金1,000万円と森美術館との共催による受賞記念展の開催機会が提供され、ほか3名のファイナリストには賞金100万円が授与されます。

片山真理は、フィルム写真や刺繍・縫いものなどの手仕事を通じて、自身の身体の境界を拡張する可能性を力強く社会へ提示してきたことが国際選考委員会から高く評価され、国際的なアートシーンでのさらなる飛躍が期待されています。本展では、受賞理由にもなったヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン）に収蔵された近作「tree of life」シリーズ（2024年～）からなるインスタレーションを紹介します。

展覧会概要

展覧会名称: 森アートアワード2026 グランプリ受賞記念展:片山真理

*本展は森美術館「森万里子:燦燦」との同時開催となります。

主催: 一般財団法人森現代芸術財団、森美術館

企画: 徳山拓一(森美術館シニア・キュレーター)

会場: 森美術館 小企画展示室(東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階)

会期: 2026年10月31日(土)~2027年3月28日(日)

時間: 10:00 ~ 22:00 *入館は閉館時間の30分前まで *会期中無休

*火曜日のみ17:00まで。ただし、11月3日(火・祝)は18:00まで、2月23日(火・祝)は22:00まで

一般のお問い合わせ: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

展覧会サイトURL: <https://www.mori.art.museum/jp/exhibitions/moricaf2026/>

入場料: 本展覧会は同時開催の森美術館「森万里子:燦燦」のチケットをご購入いただくことで、ご鑑賞いただけます。

森美術館「森万里子:燦燦」チケット料金

	平日		土・日・休日	
	当日窓口	オンライン	当日窓口	オンライン
一般	2,800円	2,600円	3,000円	2,800円
学生(高校・大学生)	1,700円	1,600円	1,800円	1,700円
中学生以下	無料			
シニア(65歳以上)	2,400円	2,200円	2,600円	2,400円

プロフィール

片山真理

1987年生まれ、群馬在住

重層的に編み上げられた社会や役割、それらが重奏的に響き合う風景を映し出すレンズとして、手縫いのオブジェを起点にセルフポートレート、映像、インスタレーションを展開する。その組み合わせによって「自然、人工、正しさ」といった社会の規範的な考えと境界のあり方を問い直してきた。作品制作の他に『選択の自由』を掲げた「ハイヒール・プロジェクト」を2011年に開始。義足用の特注ハイヒールを装着し、歌手、モデル、講演など多岐にわたり活動している。主な展覧会に、「Flesh and Bones: The Art of Anatomy」アートサイエンス・ミュージアム(シンガポール、2026年)、「Photography Now: パラソル財団女性写真家プロジェクト」ヴィクトリア&アルバート博物館(ロンドン、2025-2027年)、「Performer and Participant」テート・モダン(ロンドン、2023年)、「home again」ヨーロッパ写真美術館(パリ、2021年)、第58回ベネチア・ビエンナーレ(2019年)、「六本木クロッシング2016展: 僕の身体、あなたの声」森美術館(東京)など。そのほか、作品集『Synthesis』(2025年)を刊行。 <https://marikatayama.com/>



一般財団法人森現代芸術財団(略称:MoriCAF)について

国際的なアートコミュニティにおける日本の現代美術の振興と更なる発展のため、海外キュレーターの日本招聘や、中堅アーティストの表彰事業を行っています。

・URL:<https://mori-caf.jp/>

・Instagram:@moricaf.jp

森美術館について

森美術館は東京の"文化都心"を掲げる六本木ヒルズのシンボルとして、国際的な現代美術館を目指し2003年に開館。世界に開かれた美術館として、「現代性」と「国際性」を追求しながら、多様な地域の先鋭的な美術や建築、デザインなどの創造活動を独自の視座で紹介しています。とりわけ、日本およびアジア太平洋地域における現代美術の重要な拠点として、この地域の美術に目を向け、それぞれ固有の文化的背景を読み解き、そこから生まれる新たな動向を世界の文脈の中に位置づけることが、当館の役割のひとつであると考えています。そして、生活の中のあらゆる場面で、より多くの人々がアートを楽しめる豊かな社会、すなわち「アート+ライフ」の実現を目指します。

・URL:www.mori.art.museum

【本リリースに関するプレス問い合わせ先】取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

アワード、財団についてのプレス問合せ:森現代芸術財団広報事務局

西谷(リレーリレーLLP) 電話:090-2062-6963 e-mail:press_81@relayrelay.net

展覧会についてのプレス問合せ:森美術館広報

moriartmuseum-pr@mori.co.jp